（十日夕刊）
磐城新聞
休刊　大祭日　第一第三日曜
定價　壹枚二錢、壹ケ月五十錢、郵税十錢
廣告料　一行五十錢（指定廿錢増）
發行兼編輯印刷人　遠沼龍輔
發行所　福島縣平町田町拾六　磐城新聞社

# 町村議員改選に際して檄す

佐藤久

究極と謂ふ事は非常に意味の深いものである或人がこんな事を謂ふてをる蚊の涙に舟を浮べたらその舟の形はどの位少さなものだらうとなるほどこれは少さな話然しこれで少さいものの究極ではない人體の体も一細胞より出來て居るその細胞〻又少さな分子の集りである少さなものゝ延長すれば無限である無限と謂ふことは大である所謂小は大に通じ大は少に通ずるのである大も延長すれば無限であるその究極は知るよしもないのである究極を云ふ事は人生の過去と未來が不明の如く漠然として幻影を追ふが如く哲學に入つて吾人の知るすべもない人生は俗界に俗事を働てその日〱のタイムを過して居る人生五十年悅功無とは或詩人の歎聲であつた政治は俗界の俗事で敢て哲學や高遠な理想流れのものでない普選の初頭を飾る今次の町村議改選狀況を見るに理想選擧とは名ばかり依然として舊態を脱せず醜に醜を加ふるの狀態にあるされど政治は絕えず理想に向つて進みつゝ其の過程にある事は否定すべきでない然らば今日の政治は理想政治なる哉?之は觀樣に依つてイエスを謂ふものありノーと謂ふものあらん德川歷制政治下の當時より觀るならば實に今日の政治は理想政治なり人民を見る事殆んど牛馬の如く人が斬る事大根をきるが如く武士切りすて御免とは何たる殺虐政治なりし明治聖代に到り四民平等天恩の御仁慈に依つて救はれたのである之時に至つて國民は同等の不平不滿もない筈である然るにその恩になれ國民等しく國政に參與して廟に立つ權力を振りかざし政黨の墮落[illegible]漸く達し漸く政黨政治の信用疑られ心あるものの面を掩ふて正視するに忍びざる狀態である然らば之が革新を圖るには官僚內閣は如何にこれも國民の意志反映としては不徹底にしてどうしても政黨政治によるの外はない只國民の代表者を選良すれば理想政治は行はるゝ所謂清き一票を行使するに當りいやしくも金權や情實は斷々乎として排斥し識見豐富にして高邁なる人格者を選び議政壇上に送る事であつて一に有權者の自覺に俟つの外ないのである。

## 術なき想ひ

佐藤清長

朧げに
我が影映す夕まぐれ
今日も疲れて歸る淋しき

何がなし
悲しみてみし佇みて
追慕の願ひ淡きあまりに

夜さなりて
まぎらす日記書くさへも
もの憂きまゝに今日も休めり

一事に
捉はれ易き身なる我れ
餘り淋しき心惜めど

目的もなく
彷徨ふ日かな我が心
とても術なき想ひなりせば

明日の吉凶
新暦六月十一日
舊暦五月五日

▲一白 自分の運氣をそこなひ苦勞する事ある日▲二黒 天馬空を驅ける如き勢ひある大吉盛運日たり▲三碧 薄利の日投機心を起す時は大敗を見るべし▲四綠 油斷すれば幸運、神にのけらるゝことあり▲五黄 惱みあれど又大に助くるものありて立身す▲六白 取々惱々身心共に落付きの無き日外出注意▲七赤 進むはよけれど不慮の出來事に注意すべし▲八白 願ひ事の叶ふ日入學名びろめ移轉何づれも吉▲九紫 遲々たる運氣も怠らざれば夕までには伸びる

## 小說 死を超ゆる者 (7)

三上於菟吉作　布施平八郎畫

やくざな父親(二)

とき子、わしはいつもさう考へてはあぶなつかしい仕事に手を出してはしくじつて來た。若しわしの錢に關ぐらゐの金穴がついて見ろ——もうしくじらんぞ、なアとき子……わしは實體お前に合せる顏はないんだが……もしお前が承知してくれゝばなア……が不承知では仕方がない……わしは罪人になり自殺するなりしよう……不承知だからつてお前が不幸と云ふ譯ではないんだ。勿論惡いのはわしだもの……しかし」

「しかしお父さま」

と、とき子は口を挾んだ

「しかし、今の所はその四千圓なり六千圓なりのお金かあればいゝんでせう?」

父親はまた苦笑した

「あゝそれがありやいゝんだ!だがどこにそれがある、そんな譯なく大金が出來るもんぢやない」

「でも、それが出來ればいゝんでせう?」

父親はけげんさうに娘の顏を眺めて、口をつぐんだ

「ことに依つたら、どんな助けの手が現れるかも知れませんわ」と、とき子は乙女らしい希望に充ちた聲で言つた

「お前の言ふことが、おれにはどうも飲み込めない」

と、寬吾はつぶいた。

「私、今日あるところである方にお目にかゝりましたよ」

と娘は言つて口籠つた

「何だつて?」と父親は訊きかへした

「ある方にお目にかゝつたらその方が私たちを助けることが出來るかも知れないつて……」

「ある方とは誰だ?お前はおれの恥をやたらに洩らしはすまいな!」

と老人の我儘をそのまゝ出した聲で言つた

「信用のない方には、私どんなことだつて言ひませんけど、若樣は………」

「解つた」

寬吾は急に眼を落して低く言つた。そして言葉を次いだ。

「とき子、實はおれは此頃氣がついてゐるのだ——お前の容子がどうもをかしい」と……しかし、おれは父親でさういふことを聽いて相談に乘る役目の母親は亡いんだからなア……まア、大した間違ひもあるまいと默つてゐたんだ。じやあお前は江馬の御子息を……ふん」

「いゝえ、私だちはそんなじやありませんは」

と、とき子は眞紅になつて慌てゝ言つた

「けれども勇さまはいつでも親切にして下さるんですわ……」

寬吾は腕組をして考へ込んだ

「ほんとうに、お前のやうな柔しい娘がどうして己のやうなやくざ者に出來たんだらうなア……わしは江馬家の家令をしてゐた時にも投機と酒で信用をなくして追出されてしまつた。そのやくざ者の娘と知りながらあの邸の息子はお前を愛してくれる……お前は見てはどんな人間でも可愛がらずにはゐられないんだ……だから、お前はわしにはすぎた寶だと云ふのだ……」

「寶なんて、もうそんなことを仰有つてはいや」

「いゝね寶だ」失敗した老人に取つては娘にすがることが、娘を尊敬することが自分自身の心頼みであつた

「寶だとも……わしはな寶は今度の不仕合がお前の力で大した仕合のものになると考へてお前に手を合はせたい位に思つてゐる、なぜと云つて見な、もしお前が無かつたら何うだちうね、わしは大した不仕合となつた譯ぢや」

◎夏衣陳列
粋な中形
着尺モスリン
名仙　單帶
其の他色々
どうぞ
御來店を
三丁目
龜田屋
電二七

吉田眼科醫院

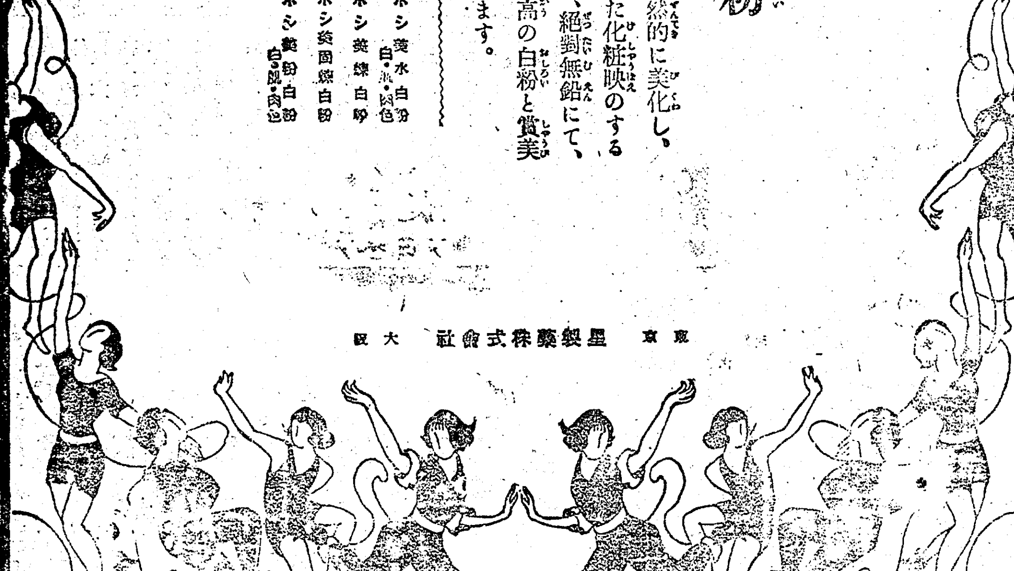
# ホシ美白粉

## 最高の白粉

どなたの肌をも自然的に美化し、氣品と艶麗に滿ちた化粧映のするホシ美白粉こそ、又、絶對無鉛にて、衞生上よりも、最高の白粉と賞美さるゝものであります。

ホシ美水白粉　白・黃・肉色
ホシ美煉白粉
ホシ美固煉白粉
ホシ美粉白粉　白色・肉色

東京　星製藥株式會社　大阪



改正 片濱乘合自動車時間表

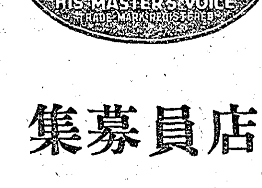
| 平發 | 江名發 |
| --- | --- |
| 五時三十分 | 五時三十分 |
| 六時三十分 | 七時 |
| 八時 | 七時五十分 |
| 九時 | 九時二十分 |
| 十時 | 十時三十分 |
| 十一時 | 十一時五十分 |
| 十二時三十分 | 一時 |
| 一時五十分 | 二時 |
| 三時 | 三時三十分 |
| 四時 | 四時四十分 |
| 五時二十分 | 五時四十分 |
| 六時三十分 | 六時四十分 |

平のりば　四丁目和泉屋前　新川町車庫
江名のりば　沖見屋　電話十四番
松屋
鈴木片濱自動車部
電話二一七
車庫呼出電話一四二

夜間診療
胃腸　痔核
內科　十二指腸虫病　專門　內科部
淋病　婦人病　皮膚病　專門　外科部
松村胃腸性病科醫院
（平南町電話一〇七番）

外科一般（入院隨意）
內臓外科專門
花柳病科
平町六丁目（橋際）
木村外科醫院
電話三〇九

レコードハ此のマーク!を




肉聲のビクターレコード
販賣店　會田時計店
平町四丁目（電話三六二番）
店員募集

貸地廣告

平町郡役所より税務署附近の新開地に五百餘坪の貸地があります、然かも完全な土盛でありますから流失其の他の憂ひ絶對になく商店、諸工場並に高級の住宅地として最もの適地を極く安値にお貸しいたします
御希望の方は電話なり載けば社員がお伺ひして親しく御相談に應じます

小名濱商事株式會社
平出張所
電話　六〇三番　五四一番

特賣!!
たひら正宗　福島縣清酒品評會一等賞受領
花春　同　優等賞受領
醬油釀造元
鹽屋　山崎合名會社
電話一〇番

# 定員一二三名超過の 小名濱町議戰

## 昭和會は死者狂ひに 選擧民自重他戒

小名濱町の町會選擧は來る十七日執行される事となり無産者代表を誇り顏に打つて出た伊藤隆次氏の立候補屆出を皮切りに十日迄に大半の屆出を了したが立候補したもの並に出馬確實と見られるものは

野崎庄太郎、水野政次郎、小野德藏、中野鐵之助、伊藤隆次、小野務平、松重兵衛、立花雄七、小野晉平、小濱長太郎、草野良太郎、江尻甚太郎、藤社大一、岡山重喜、松本德次郎、堀越新平、熊谷寅次郎、小松力

以上の外結局二十一二名となり定員十八名より三四名の超過見込であるが流石普選の煽りを喰つて飛び出したものの內には可成りいかゞわしき代者もないではなく種々の方法により猛烈な運動を開始した、而して民政派の流れをくむ同地昭和會なる團体は三四名の立候補者を出し從來同町々政の爲め熱心奔走を續けて來た古顏の候補者に對し旺むに惡宣傳を試み比較的無自覺な選擧民の歡心を購はん事に努めてゐるが今や正に發展の途上にある小名濱町千年の大計を築く爲めには實質的に有力なる手腕の士を揃ひる必要ありとの自覺せる町民の輿論昂然と擧り徒らに事を好むワイ／＼連中の跳梁橫行を斷然阻止せねばならぬと云ふ意見有力にして蓋し大なる番狂はせはなく相當有力の士のみ當選を見るものと觀測されてゐる

# 無産議員を加へた 內鄕選擧結果

## 棄權も比較的少なく 最高二百廿票

人口二萬五千を有し全國で第二番目の大村として知られて居る石城郡內鄕村村會議員選擧は八日午前六時より午後七時まで同村小學校內に執行し午後十一時迄に開票を終つた定員三十名に對し三十三名の立候補者を見競爭猛烈を極めたが四名の候補者をたて進出を豫想された社會民衆黨は僅に廣瀨貞一名の當選を見たのみで他の三名はいづれも慘敗した當選者氏名は

馬目予之松、高原重吉、宮本鐵太郎、山崎嘉一、沼田濱之助、大方遠也、加美山武夫、山崎辰猪、小松實一郎、島田粂吉、松本金三郎、佐藤三平、加藤丈夫、鈴木佐市、久野喜平、金澤晉吉、湊慶三郎、龜田修作、志賀留吉、生田常松、菅波忠治、平田良三、井出金次郎、猪狩喜平治、小野登、長谷川幾之助、小南富二雄、南波正志、石橋弘毅、廣瀨貞

而して此の投票の成績は最高二百二十最低六十六票であつたが有權者四千二百三十二名の投票成績は最初豫想した以上好成績を示した即ち四千二百三十二名のうち投票したものは四千七名で有効投票數三千八百四十四無効百六十三棄權二百二十五失格二百四十九で棄權は僅に五厘餘といふ僅少な數字を示してゐる

# 時の記念日

## 時計の色々に就て

平三　鬼　公子

みなさんもちやんとごぞんじのやうに時間が守ることはたいへん大切なことですから、毎年六月の十日を時の記念日として、時間を守らねばならんと云ふことを思ひだすやうにしてゐます。大正九年に時の記念日が定められましてから今年でちやうど十年目になります、今日は一つ昔の色々の時計のお話をいたしませう

時計と云ひますとみなさんは機械の仕掛けでカチカチと針が進む懷中時計や柱時計をすぐにお考へになるでせう、だけどあゝした機械仕掛けの時計は時計の歷史から申しますとずつとのちのことです、その前はいろ／＼の道具で時をはかつてゐました。

### 日時計

昔は太陽の影で時間をはかつてゐました。これが日時計です。日時計は今から三千年も大昔から使用されてゐました。今でもボルネオの土人は日時計をつかつて時をはかつてゐるさうです。それは、まつすぐに棒をたてゝ置いて砂の上や床の上などに落ちる棒の影の長さやかたむきぐあひで時をはかるのです。けれど夜になつたり雨が降つてくると役に立ちません。

### 水時計

水時計は水のしづくがポタリ／＼とおちる時間で時をはかるもので大ていは一つの水桶から他の水桶へ水がポタリ／＼おちるやうな仕掛けになつてゐます。支那では三千年も昔からつかはれてゐました。西洋の方では色々よくできた水時計がありまして西暦紀元前百三十五年ごろに、もうアレキサンドリヤと云ふ地中海に面してゐる町では時刻になると人形が一人で出てきて時を知らせるやうな細工をした水時計があつたさうです。

### 砂時計

砂時計は水時計と同じやうな仕掛けで、水のかはりに砂をつかつたものです。砂時計に使ふ砂は黑大理石の砂で、この砂を葡萄酒で煮ては乾し、乾しては搗り搗りすること九回もくりかへしたものを使ふのださうです。いれ物は大てい硝子器で目盛をつけて砂がどれぐらゐ落ちたかがすぐ見わかるやうにしてあります。砂時計にも前の水時計にもいろ／＼形のかはつたものや大きいのや小さいのがありますが、理窟は同じことです。

### 火時計

火時計は蠟燭とか繩とかを燃やして時間をはかるものです蠟燭時計は蠟燭を白と黑に塗りわけたり、刻みすぢをつけたりなんかして時間をはかります。西洋では千年ぐらゐ前からありました。火繩時計は火繩に結び目をつけて置いて一つの結び目まで燃えるのが一時としたのです。ランプ時計はガラス製の油入があつてそれに目盛りがつけてありましてこの油が流れ出る先に燈心があつて火がつくやうになつてゐます。油入の目盛りで時を知りますこれは三百年ばかり前スペインのフイリツプ二世が初めて夜の時間を知るために、家來のレルミツト氏が作つたのださうです。このほかお寺などでは香や線香などに火をつけて時をはかつてゐました。これを香時計、線香時計と云つてゐます。

# 片倉磐城工場

## 月末から操業

片倉磐城製絲工場の操業開始は愈々機械の設備を急ぎ今月末になるらしいが十三日は郡山工場より過般より養成した女工百五十名が來る筈で猶は同日頃より繭の買入等を開始すると

# 鈴木氏の問題で 開けぬ平町會

## 若し許可が長びけば 斷然辭職の決意

石城郡湯本町小學校訓導を現職のまゝ平町議職に立候補し見事當選の榮冠を贏ち得た平町鎌田町鈴木光吉氏は未だ縣當局より正式に町議たる事差支へなしの認可に接しないため平町役場に對しても通知を發すること出來ぬため町會を招集する譯に行かずして顏合せの町會は延び延びになつてゐるが縣當局の意向としては最初の事でもあるので種々協議した結果十一、二日ごろ同氏に通知を發するものと見られてゐるが若し鈴木氏は縣當局が或る意味の條件を附したり乃至は不承認をしたりする場合には敎職を棒に振る決心を堅めてゐるか既に町會選擧異議の申立てがある外家屋稅の決定に迫られてゐる平町會はさう延期する譯けにはもう行かぬので鈴木氏の認可が遲れる場合は鈴木氏は斷然職を辭する筈であると

# 磐崎校訓導 慘死

## 進行中の列車で 胴体眞ツ二つ

石城郡磐崎村大字岩ケ岡字山玉作居住磐崎村第二小學校訓導岩崎清雄(五〇)は八日午後三時五十分頃自轉車に乘り湯本町方面に向つて疾走して來る途中、同村字藤原境堂地內の三井炭礦專用線踏切にさしかゝつた際、石炭を積んだ列車が進行して來たので自轉車から飛び降りんとしたが同所は急勾配になつてゐるためとまることが出來ず遂に進行中の列車に衝突して慘死した

# 平の時の記念日

## 第一、第二兩校の試みさ 自動車の宣傳

今十日は時の記念日である大正九年に初めて實施して以來恰度十週年に當るので平町では正午一齊に鐘樓、各寺院の梵鐘、機關庫の汽笛を打鳴し一般に正確なる時間を報知したが平第二小學校では珍らしい試みとして各兒童に午前六時より全部登校せしめ自宅より學校までの步行時間を計つて時の觀念を與へるに努めた猶佐藤校長の時の講話があり敎員は各々受持兒童に講話をなした第一校では午前七時五十分の朝禮に校長の時に關する講話あり始業其の他の時間勵行を守る事にし各學級兒童に時間尊重、時間勵行に就ての綴方、標語を作らしめた、この日平時計商工業組合では自動車に分乘して市內を練り廻り「正確にジ間を守りませう」等を刷つたビラを撒布した

# 湯本組優勝

## 石城スポンヂ野球

第三回石城スポンヂ大會は九日正午より平第一小學校球場に於て開催した準決勝は南町倶樂部七小內鄕天狗一で南町優勝し、湯本倶樂部對磐中オールケイは磐中組學期試驗のため棄權し南町倶樂部對湯本倶樂部の決勝戰となり二對六で湯本組優勝し前年から保持してゐた南町組の優勝旗は湯本組の手に歸した

# 白銀軍雪恥

## 七十七とあす試合

平町七十七銀行平支店チームと白銀クラブの野球試合は十一日午後四時より平第一校庭で行ふ事となつたが白銀クラブは雪恥の意氣に燃ね戰績を注目されてゐる

# 性能機

## 平紹介所で 校長に使用傳授

平職業紹介所では少年職業選擇上各自の性能を試驗して職業を與へることが必要であるといふのでこれが費用を今年度豫算に三百八十圓計上したがいよ／＼七月中旬までに性能檢査器を購入することになつた、購入と同時に檢査器の使用方法を講習し來る八月一日から三日間平町で開催される縣三郡小學校長會議を利用しこれが一般講習會を開いて各校長に使用法の傳習をなす由である

# 平第二出席率

平第二小學校五月中の兒童の欠席狀態は水害のため欠席者が多かつた尋常科一萬五百七十四名の三十五名高等科二百六十一名の內十名の欠席であつた

# 敎員會講習會

石城郡第一區敎員講習會は九日より三日間植田小學校內に開催されるが科目は唱歌にて磐城高女田中敎諭が講師の由、因に同第二區では同期間湯本小學校新校舍にて敎員の算術講習會を開催する

# 江名初町會

## 十日より召集

石城郡江名町の選擧後初町會は十日午前十時から招集して左の議案を防議する筈である

臨時出納檢査立會議員選擧の件、昭和四年度前期縣稅漁業稅賦課の件△昭和四年度縣稅家屋稅賦課細目の決定の件△昭和四年度江名町歲出出豫算更正の件△昭和四年度特別稅戶數割制限外課稅の件△寄附採納の件以上

# 泉村の違反事件

## 買收その他十五六名 書類で送檢さる

石城郡泉村に選擧違反發生し植田警察署に於て關係者二十數名を署に引致取り調べたる事は昨既の如くであるが六、七、八の三日間にわたり嚴重取り調べの結果昨九日一件書類を平檢事局に送付し一段落を告げた。買收、戶別訪問、饗應等の犯罪を構成すべき者十五、六名に上るらしいが當選者自身には何等の關係なきものゝ如くである

# 植田營林署

## 町役場內に執務

石城郡植田町においては新設營林署に役場事務所を貸與し役場事務は會議室を擴張し執務することゝなり增築中の處出來あがつたので去る七日より三尺廊下を距てゝ仲よく營林署と役場と執務してゐる

# 少女の溺死

石城郡草野村下神谷末次郎孫佐藤なみ(三)は去る七日午後三時ころ自宅裏に於て遊戲中誤つて小堀に顚落溺死した

# 平校敎育修養

平第一、二小學校職員の修養講座は十一日午後二ジ半より第二校作法室に開催される科目左の如し

△第一校　尋一ノ五(讀方)三ノ二、高二ノ二(算、地理)五ノ四、六ノ三(体操、綴方)二ノ四、高一ノ二(書方手工)六ノ一(修身)五ノ二(讀方)二ノ三、高二ノ一(唱遊、理科)四ノ二、高一ノ一(圖書、國史)

△第二校　尋一ノ二(唱遊)二ノ四(算術)四ノ五(理科)三ノ四(唱歌)高一ノ三(修身)四ノ二(算術)六ノ三(國史)五ノ二(地理)高二ノ二(圖書)

# 繭の毛羽取り

## 養蠶同業で配布

石城郡內の蠶況は川前、永戶、永井、澤渡、三阪の各村を除く外殆んど上蔟したので繭の出廻りも近づいたが石城養蠶同業組合では繭の品質改良法として左の如き印刷物を十日各養蠶者に配布した

△繭、毛羽取り實行　皆さん何事も仕上りが第一であります

△繭の毛羽をとつて仕上を良くしませう

△仕上が良ければ價格が上ります

△價格を上げませう毛羽除去て

△郡內一致で除去りませう

# 錦村苗代品評

石城郡錦村村農會主催苗代立毛品評會は十日から十二日まで三日間同村に於て開催し審査の結果優良者にはそれ／＼褒賞を授與する筈であるなほ神谷村に於ても十二十三の兩日に亘り同樣苗代立毛品評會を開催する由である

# 勿來繭市場

## 十五日から開市

勿來繭市場は地理的に茨城縣との接觸繁きところから多賀郡方面の發蠶家に比較的利用者多く昨年度にたいては約三千圓の純益をしめさる五日總會にて五分の配當をなした好成績を示して居る且幹部に有力者を有してゐる等の關係で蠶糸家筋で幾分尙早の意味あるも十五日より全然延べ取引を行はず現金買で開市をなす事となつた

# 石城郡下の 桑不足

## 他郡から買入

石城郡方面は數日來から春蠶の上蔟期に入つたので養蠶家は頗る多忙を極めて居るが過般の天候に禍され桑の成育害された結果各地とも桑不足を來し大狼狽をなしてゐる上蔟成績が非常に好成績にあるためいづれも他郡から桑の移入をなしてゐる

# 平女子靑年總會

## 來る二十二日第二校で 熊田氏の講演

平女子靑年團總集會は來る二十二日平第二小學校に於て開會する事に決定したが當日は學務會計の報告、會員の演說、福島成溪女學校長熊田子之四郎氏の講演がある題は未定であるが會員四百名出席盛會を豫想されてゐる

# 平校長出席

縣下小學校長會議のため開會地白河町に十二日平第一曾我校長、第二佐藤校長は出發する

# 公會教授

## 平第一、二校 十八、九の兩日に

平第一第二小學校の郡下各敎員に參觀さすべき公開敎授は來る十八九の兩日午前八ジより行ふ筈である學級


小名濱町會議員

候補者（順席不同）

小松重兵衛　小野務平　小野晉平　立花雄七　堀越新平　草野良太郎　岡山重喜　小濱長太郎　松本德次郎　江尻甚太郎

卓越せる手腕と識見を有し熱心なる愛町の士として過去幾多の功績ある右の諸氏を最適任者と認め小名濱町會第一の候補者として推薦し極力其の當選を期す、住み佳き吾れ等の小名濱町を建設する爲め何卒絕大なる御援助と御同情を懇願いたします

小名濱町　有權者有志一同

廣告責任者　平町田町一六　坂本浩

蒲燒賣出し

一うなどん　六十錢均一

一蒲燒　一圓より

仕出しは配達迅速

多數御注文のお方には特に御相談に應じます

平町新田町　壽々喜亭　電話五八番

生花教授

池ノ坊流　生花を懇切叮寧に御教授いたします、お遊びがてら御出で下さい。

平町十五丁目通り　須藤まつの

植田町本町　前田醫院

…入院隨時…　電一二四番